

# 予算



## 財政健全化計画を基本にした予算編成

一歳入の確保と事業の効率化で財政の「立て直し」を

(単位：千円)

会計名	本年度予算額	前年度予算額	増減	伸率	
一般会計	20,912,420	21,213,660	△ 301,240	△ 1.4%	
特別会計	住宅資金貸付事業	18,550	21,150	△ 2,600	△ 12.3
	国民健康保険事業	4,859,370	4,536,300	323,070	7.1
	老人保健	6,580,920	6,639,920	△ 59,000	△ 0.9
	真鍋島直診施設	28,510	28,660	△ 150	△ 0.5
	へき地診療施設	6,030	4,320	1,710	39.6
	下水道事業	3,579,000	3,209,290	369,710	11.5
	相生墓園事業	19,440	19,400	40	0.2
	土地造成事業	105,590	106,150	△ 560	△ 0.5
	工業団地造成事業	26,680	25,120	1,560	6.2
	介護保険事業	4,032,810	4,025,020	7,790	0.2
	介護サービス事業	141,160	99,510	41,650	41.9
	計	19,398,060	18,714,840	683,220	3.7
合計	40,310,480	39,928,500	381,980	1.0	
企業会計	水道事業	1,791,480	1,805,210	△ 13,730	△ 0.8
	病院事業	2,784,460	2,800,480	△ 16,020	△ 0.6
	計	4,575,940	4,605,690	△ 29,750	△ 0.6
総合計	44,886,420	44,534,190	352,230	0.8	

総額は448億8,642万円です

平成18年度の当初予算が、3月に開かれた第1回定例市議会で審議され可決されました。予算は、皆さんに納めていただいた税金を計画的に、そしてより効果的に使うためのものです。

笠岡市の財政は、市税収入が若干増えています。いわゆる三位一体の改革により、地方交付税が大幅な減少となっております。笠岡市では、こうした状況に対応するため、平成15年度に財政健全化計画を策定し、事業の重点化、人件費の削減などに取り組み、財政の立て直しを進めています。今月号では、笠岡市の平成18年度予算の概要と財政健全化の進み具合を特集します。

市の予算は、大きく「一般会計」「特別会計」「企業会計」の3つに分けることができます。一般会計は、福祉や教育、建設といった一般的な事業に使う予算です。特別会計は、事業ごとに独立させた方が効率よく運営で

きるものを、一般会計とは切り離して経理する予算です。国民健康保険事業や下水道事業、介護保険事業など11の会計があります。企業会計は、地方公営企業法の適用を受けるもので、水道事業、病院事業会計がこれにあたります。